

令和五年

# 松香 Komunikado

一月八日発行

第二百九十八号

大本松香分苑

豊橋市南牛川二・三・二〇

電話 ファックス

〇五三二・六三・二一七三

発行責任者 山本 健

令和五年 新年祭 ごあいさつ

分苑長 山本 健

Felician Novjaron.

Dankon pro via daŭra subteno ĉi-jare.

新年あけましておめでと〜〜いませす。本年もよろしくお願い致します。

ただいまは、松香分苑の令和五年、癸卯みずのとの新年祭を、さすががしく齋行させていただきました。ご参拝・ご奉仕くださいました皆様方、又オンライン参拝並びにお玉串をお送りくださりました方々、誠に有難うございました。

本日は、国際愛善宣教課より、矢野様、木村様が見えておられ、又オンラインでサンフランシスコよりビルロバーツ様が参加してくださっております。後程お話を頂きます。

続きまして、三点お話しさせていただきます。

一、教主様の新年 ご挨拶のはじめに

「明治二十五年旧正月の初発の神諭に、『この世は全然、新つの世に替えて了うぞよ。三千世界の**大洗濯**、大掃除を致して、天下泰平に世を治めて、万古末代続く神国の世に致すぞよ。神の申した事は、一分一厘違わんぞよ。毛筋の横巾ほども間違いは無いぞよ。これが違うたら、神はこの世には居らんぞよ』と示されていますが、まさに今、神さまのお言葉を現実のこととして感じられる時代に、私たちは生かされているのではないかと思わせていただいております。神さまの進められるお経論は私たち人間には想像も及びませんが、人として踏み行うべきことは、ご神諭や霊界物語、又教御祖おんみおやさま方のご神書に丁寧にご教示頂いております。

ますので、世の中の混乱に押し流されることなく、常に正道を歩ませていただける大本信仰のありがたさを、身に沁みて強く感じるこのごろでございます。」とございます。

昨年の開祖大祭で教主様は、「激動の令和の五六七の年が始まる」とお示しくださっております。立て替え立て直しがいよいよとどめの段階にきていと取らせていただいております。特に、食料についてもできるだけ自給自足を図るようにと、お示しくださっております。

教主様がおっしゃる激動の真意はこれからわかっていくのだと思いますが、水の確保や食料の確保など、どのような事態が起こっても大丈夫なように備えておくことが大切なのだと感じました。

昨年を振り返りますと、戦争、自然災害、そしてそれらが原因となるエネルギー不足、食料不足とそれらの物価高騰が、既にすごい勢いで起こっております。農産物に必要な肥料も不足して居り作物が作れないと言われています。更に九州では温泉が月に四回も出ない日が出ています等、地震や火山爆発などの自然災害もじわじわ迫っているように思います。まさに一触即発の気配です。

新型コロナウイルスの時にマスクの入手が困難だったことなどを例に挙げると、一つの出来事です。すぐさま入手困難になる昨今、何か起こってからでは遅すぎます。まずは食料の確保をお薦めします。脅かしではありません。いつか来ることは誰も否定しないと思いますが、まだ来ないと思われている方が多いと思います。先ほどの教主様の新年ごあいさつで、「まさに今」というお言葉を強く受け止めていただきました。神さまは何か起こってから、信心します、寄付しますから、神さまの御用を致しますといっても、困ったときの神頼みは、間に合わないとおっしゃって居られます。今まさに「不動の信に吾奮い起つ」の尊師様のお言葉を真剣に受けて、教主様のご教導の基、御神業にまい進させていただきましょう。今年、みて代ご下付から百周年、エスペラント普及会が大本にできて百周年を記念する大本エスペラント歌祭りも行われます。また道院・世界紅卍字会と大本提携百周年を迎えます。世界紅卍字会との提携は台湾や関東での大震災がご縁です。地震も百周年周期という話もあり、すべてが「まさに今」その時という感じが致します。

二、ビルロバーツ氏の写真集「素顔の大本」について

この写真集を編集されました、ビルロバーツ氏について、写真集の前書きにあります、当時の鈴木頼一部長のお言葉をご紹介させていただきます。

「ロバーツ氏のご両親は、第二次世界大戦直後の日本で出会います。戦後復興、特に日本の自然を守るプロジェクトのメンバーとして、別々の船で米国から横浜に到着します。お父様は陸軍士官、お母様は軍の民間秘書。仕事を通じて知り合い、二人は一九四七年に東京で結婚式を挙げます。日本が大好きで、富士山に登り、保津川下りを楽しみ、ジープで北海道を旅しています。一九四九年、ロバーツ氏は、東京でお母さまのお腹に宿ります。本人も仰っておられますが、まさにメイド・イン・ジャパンでした。

又二〇〇五年、杓島現地参拝を許されました。未信徒でしかも初めての外国人でした。現地参拝には、潔斎が必要と聞いたロバーツ氏は、英訳された霊界物語一巻の一部と生きがいの探求を毎晩拝読。そして、アルコールを飲まない彼は、当時大好きだったチョコレートとを三週間断ったとのこと。現地参拝の数日後、出口紅教主様からベルギーチョコレートが机の上

に届けられたそうです。〈中略〉この写真集は、宗教法人「大本」の活動を紹介すると同時に、出口紅大本教主の足跡、すなわち二〇〇一年の就任以来今日までのほぼ二十年をたどるものとなりました。〈中略〉ぜひ手に取ってもらいたいと思います。

以上が前書きからでございます。ビルロバーツ氏が作成された、写真集「素顔の大本」についてこの後お話しいただきますが、本部を始め全国の機関の信仰の姿が目で見えてわかる素晴らしい大作です。この写真集が私たちの信仰生活のさらなる向上に役に立つことと思えます。一家に一から二冊以上お買い求めいただきたくお願い致します。

### 三、節分大祭人型お薦め御用について

コロナ禍で難しい状況ではありますが、少しでも多くの方にお勧めしていただきますようお願い致します。新しくできた友人などにも、是非お勧め下さい。

以上で新年の分苑長挨拶とさせていただきます。

Koran dankon